

中東・イスラーム研究の新地平

ウィズコロナ時代のチャレンジ

日時 2021年1月9日(土)
13:00-17:00

場所 オンライン開催 (zoom) 要・事前申込
<https://forms.gle/pSZwTmYG5wUhEj6S8>



全体司会：池端 露子 (日本学術振興会)

1

デジタル化時代の 中東・イスラーム研究

司会
末近 浩太
(立命館大学)

13:05-14:30

【基調講演】 小杉 泰 (立命館大学)

「中東・イスラーム研究におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の次段階へ向けて：
法源学データベースの戦略を事例として」

渡邊 駿 (京都大学) 「中東・イスラーム研究におけるデジタル・リソース活用：
東アラブ/地中海沿岸地域を事例として」

川村 藍 (筑波大学) 「イスラーム金融におけるデジタル化：市場と法の役割」
質疑応答(15分間)

2

現代中東における政治・ 経済とイスラーム

司会
安田 慎
(高崎経済大学)

14:40-15:40

米田 優作 「「サラフィー政治」研究序説：ダアワ・サラフィーヤの事例から」
(立命館大学大学院)

住吉 大樹 「経済団体MÜSiAD(ミュシアド)と現代トルコのイスラーム経済」
(京都大学大学院)

質疑応答(10分間)

3

現代中東から世界に広がる 難民問題

司会
佐藤 麻理絵
(京都大学)

15:50-16:50

中西 萌 「レバノン・シリア系移民ネットワークにおける現代シリア難民の動態」
(京都大学大学院)

望月 葵 「難民問題が照らし出す現代国家の在り方：シリア難民危機に着目して」
(京都大学大学院)

質疑応答(10分間)

主催・共催：立命館大学アジア・日本研究所、中東・イスラーム研究センター、国際地域研究所
科研費基盤 A 「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向：過激派と対峙する主流派」(研究代表者：小杉泰)
科研費基盤 B 「イスラーム金融の新実践における初期規範理論の復権と発展的再構築」(研究代表者：長岡慎介)
科研費基盤 B 「現代中東における政治と宗教：「アラブの春」以降のムスリム同胞団を事例に」(研究代表者：横田貴之)
科研費基盤 B 「計量テキスト分析を用いた現代中東における新たな政治的動員に関する実証研究」(研究代表者：末近浩太)
科研費新学術領域研究計画研究 B02 「越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争」(研究代表者：末近浩太)
NIHU プログラム「現代中東地域研究」京大拠点・第2班「イスラーム中道派研究班」・第3班「イスラーム経済研究班」
連絡先：17v00017@gst.ritsumeit.ac.jp (担当：二宮)